

京都中小企業家同友会 ソーシャルインクルージョン委員会 の取組

京都中小企業家同友会
ソーシャルインクルージョン委員会
前委員長 石井 雄一郎

自己紹介

1965年8月21日 京都市生まれ(52歳)

1988年 3月 関西大学法学部政治学科卒

1988年 4月 株式会社ラピーヌ就職(アパレルメーカー)

1993年 4月 株式会社吉田治市商店七条店就職(仏具卸)

1995年 7月 有限会社グラン・ブルー設立

観賞魚・活魚水槽設計・施工・メンテナンス・小売

2010年12月 株式会社京のちから設立

障害者就労継続支援事業

自社紹介

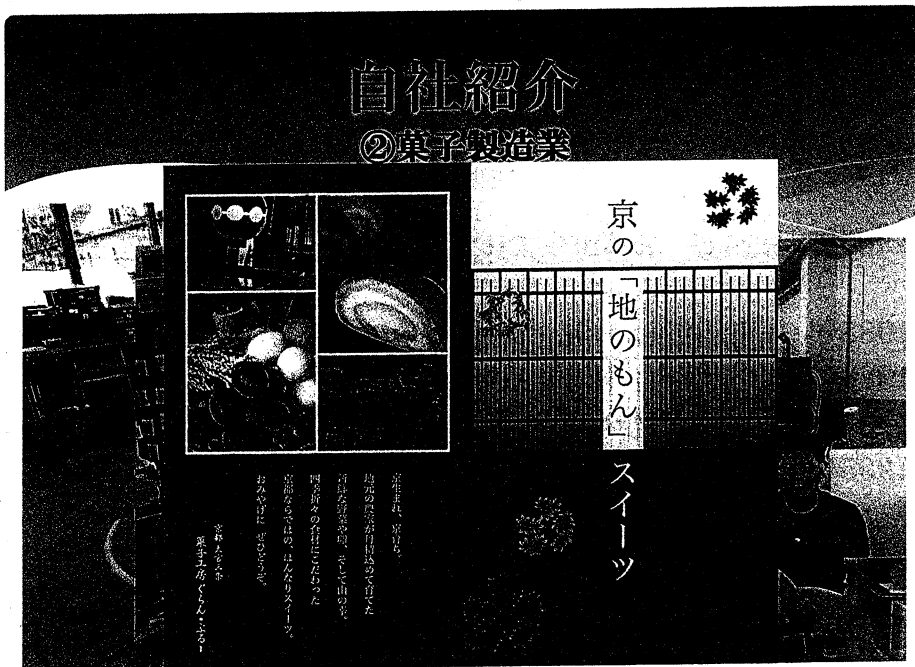
・有限会社 グラン・ブルー

- ①観賞魚・活魚水槽設計・施工・メンテナンス
- ②菓子製造業
- ③京都コラボアニメイベント企画・グッズ制作
- ④(株)サンリオ業務提携会社
キャラクター商品・空間装飾企画

自社紹介

①観賞魚・活魚水槽設計・施工・メンテナンス

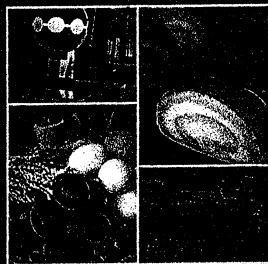




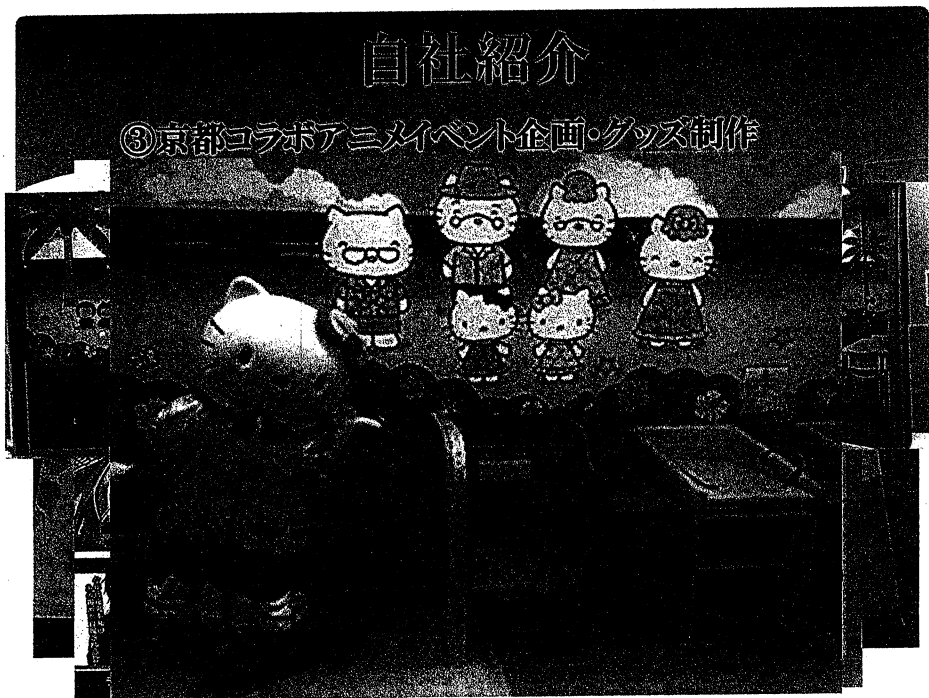
自社紹介

②菓子製造業

京の「地のもん」スイーツ



京都生まれ、京菓子。地元の産物が目録のりて自製。原料も京都産。そして、山を、川を、新緑の台にこだわった。京都ならではの、ほんのりスイーツ。おみやげに、ぜひどうぞ。
※ 株式会社 京のちから



自社紹介

③京都コラボアニメイベント企画・グッズ制作

自社紹介

株式会社 京のちから

2012年 障害者就労継続支援A型事業所設立

2016年 A型事業所よりB型事業所へ移行

- ・菓子製造業・販売
- ・菓子製造受託・卸

創業の地 京のちから Company Profile

私たちは、働きたいと願う人の自立をサポートする障がい者就労支援企業です。

京都中小企業会同友会とは？

- * 中小企業家同友会全国協議会(47会)の一つ
- * 京都府では約1700社(全国で45000社)が加盟
- * 人間尊重の経営の実践による「幸せの見える地域社会の実現」を目指し、経営者の学びと実践を行う経営者団体
- * 専門委員会(京都は5委員会により構成)

- ・経営労働委員会・社員教育共同求人委員会・経営指針成文化委員会・文化厚生委員会・ソーシャルインクルージョン委員会 (障がい者問題委員会の名称が全国では主流)

により「学びと実践」の体系を構成しています。

ソーシャルインクルージョン委員会とは ソーシャルインクルージョン(SI)とは？

全ての人々を孤独や孤立、排除や摩擦から援護し、健康で文化的な生活に繋げるよう、社会の構成員として包み支え合うという理念

日本においても2000年に厚生省が21世紀の社会福祉の在り方として提言されており、特に地方公共団体に於いては、住民の参画を得て「支え合う社会」の実現を図る事が求められており、さらに地域社会における様々な制度、機関、団体の連携(繋がり)を築く事によって「新たな公」を創造していく事が望まれています。

京都府障害者雇用の現状

民間企業の障害者雇用状況

(1) 企業規模別の実雇用率について

従業員数の企業規模別でみると、1,000人以上規模で2.13%、500～999人規模で2.00%と全規模の1.97%を上回ったが、50～99人規模で1.73%、100～299人規模で1.90%、300～499人規模は1.88%と全規模を下回った。

(1) 産業別の実雇用率について

「運輸業・郵便業」で3.04%、「医療・福祉」で2.64%、「不動産業・物品賃貸業」で2.48%、「複合サービス業」で2.43%、「サービス業」で2.26%、「生活関連サービス業・娯楽業」で2.17%、「製造業」で2.04%であり、7業種において法定雇用率2.0%を上回った。

(2) 雇用されている障害者数について

民間企業(50人以上規模の企業)に雇用されている障害者数は8,492.0人(前年8,088.5人)と前年より403.5人増加(前年比5.0%増)した。

雇用されている障害者のうち、身体障害者は5,902人(前年5,702人、3.5%増)、知的障害者は1,926.5人(前年1,840人、4.7%増)精神障害者は663.5人(前年546.5人、21.4%増)であった。

(3) 法定雇用率達成企業の状況について

報告企業数は1,728社(前年1,714社)と前年より14社増加し、法定雇用率を達成している企業は1,728社中918社(前年868社)と前年より50社増加した。

法定雇用率達成企業割合は53.1%(前年50.6%)と前年より2.5ポイント上昇した。

【概要】

- ・報告企業数は1,728社(前年1,714社)
- ・実雇用率は2.07%(前年より0.05ポイント上昇)。全国平均は1.97%(前年より0.05ポイント上昇)。
- ・法定雇用率達成企業数は918社、割合は53.1%(前年より2.5ポイント上昇)。全国平均は50.0%(前年より1.2ポイント上昇)。
- ・雇用障害者数は8,492.0人(前年8,088.5人)
- ・企業規模別の雇用率は、1,000人以上規模が2.19%で最も高く、次が100人～299人規模で2.12%。50人～99人規模が1.73%と最も低い。

法定雇用率

事業主区分	法定雇用率 現行		平成30年4月1日以降
民間企業	2.0%	⇒	2.2%
国、地方公共団体等	2.3%	⇒	2.5%
都道府県等の教育委員会	2.2%	⇒	2.4%

対象となる事業主の範囲が、従業員45.5人以上に広がります。

平成33年4月までには、更に0.1%引き上げとなります。

京都中小企業家同友会 ソーシャルインクルージョン委員会の目的

「ソーシャルインクルージョンを通して
地域から愛される企業へ！」

地域の雇用を守り、幸せの見える地域社会の実現を
中小企業家の手で

ソーシャルインクルージョン委員会 組織体制

障害者就労部会

社会的養護部会

求職困難者就労部会

障害者就労部会

- ①職場見学・実習の受入れ
- ②就労体験・訓練
- ③国の就労制度に則った就労支援

現状の課題

見学や実習の受入れ先が少ない

→・障がい者への理解がない ・障がい者との関わりがない

一方で、直接当事者の皆さんと触れれば、就労へ繋がっていると言う現実もある。

- ・京都市圏域での就労支援ネットワーク～COCOネット～を構築
- ・京都市内総合支援学校との連携～企業見学・実習受入れの実施

企業・支援機関(A型・B型・移行支援事業所)・行政支援機関(ハローワーク、ジョブパーク)・行政(京都市福祉局・京都府福祉課・教育委員会)の連携による職場見学、実習の実施と当事者支援・企業支援

各部会の取組

* 障害者就労部会

障害をお持ちの方の就労へ向けての支援の在り方を学び、共有する。
地域ネットワークとの連携による企業見学・実習・就労支援
・山城障がい者就労サポートチーム調整会議：はちどり
・ココネット会議

* 社会的養護部会

児童養護施設やファミリーホーム等に暮らす子供たち(3歳～18歳)の就労定着の在り方を学び、共有する。

毎月の定期訪問でのビフレンディング運動を行う事で、社会との接点・絆を強くする。

* 求職困難者就労部会

障害者手帳を持たない就労に壁を感じる方々
～引籠り、ニート、一人親家庭、生活保護受給者、高齢者他～
地域ネットワークとの連携による企業見学・実習・就労支援
・いっぽねっと



総合的に実践

障害者就労で見た事



配送業務・A君



仏花作り・B君

フラワーショップでの就労。精神障害(統合失調症)2名

社会的養護部会

- ①施設の子供たちと語り合う
- ②夏休み・冬休み・春休みに企業訪問・実習
- ③大人の働く姿、生き様を体感する。

3歳の幼児～高校生まで

*養護施設では、基本18歳(高校卒業)で退所。
以降は自力で生活(衣食住・就労)

課題 自己肯定感に乏しい!

仕事が続かない。

反社会的勢力や夜の仕事に流れてしまう。

生活保護下に入ってしまう。

求職困難者就労部会

- ①高齢者・難病者・シングルマザー等の
就労への課題や配慮を研究しマッチング
- ②「いっぽねっと」の構築
企業・支援機関(若者サポートステーション、ジョブカフェ
等)・行政(京都府・京都市)・行政支援機関(ハローワーク・
ジョブパーク)との連携

取組の現状

障害者手帳を所持していない就労困難者の
企業見学・実習を通して職業観と自己肯定
感を育てます。

実習から雇用への事例も輩出しています。

社会的養護部会



食事会風景



個別面台風景



実習報告会風景

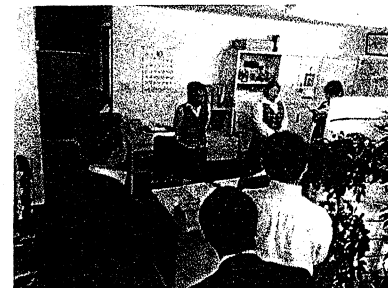
求職困難者就労研究部門



難病者支援事業所



高齢者雇用事業所



シングルマザーのみの会社

3部門に共通して見えてきた事

知らない事が最大の課題です！

- * 1社での活動には限界があります。
- * ネットワークで繋ぐ幸せの見える地域社会
- * 仕事ではなく、人で繋がるネットワーク
- * 個性を大切に、仕事に生かす社風作り

COCOネットの取組

生活・就労支援センター、ハローワーク、ジョブパーク
、支援機関(B型・A型・移行支援)、同友会会員企業、支援学校
、医療機関によるワーキンググループ活動(コア会議)と見学・
実習のコーディネートと事例報告・意見交換

- * コア会議：隔月(偶数月)1回の開催
企業見学・実習依頼票に基づく事前会議・進捗確認等
- * 全体会議：隔月(奇数月)1回の開催
企業見学・実習経過報告(依頼事業所職員より報告)
見学・実習後の状況確認
就労後の定着状況確認～課題のある場合は会議で事後フォロー確認
支援者・企業側(人事担当や経営者)との懇談

見学～実習～就労～就労後の定着支援をネットワークで支援する

私たちの活動の目的

未来の京都を誰もが住み良い豊かな共生社会の実現を目指します

- ・障害のある子とその親の願い(七夕の短冊)
- ・児童養護施設訪問時の子供の反応(ママ?)
- ・生きる喜び
 - ・人に愛される事・人に褒められる事
 - ・人の役に立つ事・人から必要とされる事

働くことによって愛以外の三つの幸せは得られるのです。
その愛も、一生懸命働くことによって得られるものだと思います。

日本理科学工業 代表取締役 大山 隆久

私たちは、
働き甲斐をもって就労できる職場文化を醸成し、地域の皆さんと共に育つ企業を育てます。

まとめ

- * 何故、中小企業家同友会は障害者(就労困難者)雇用を推進するのでしょうか。
- * 「人間尊重の経営」に基づく「人を生かす経営」とは？
- * 歴史から学ぶ
- * 地域が豊かであるために

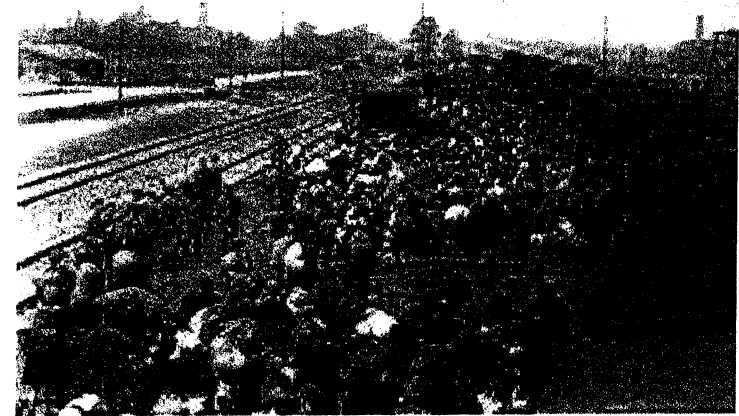
世界の歴史から学ぶ

* T4作戦



世界の歴史から学ぶ

* ホロコースト

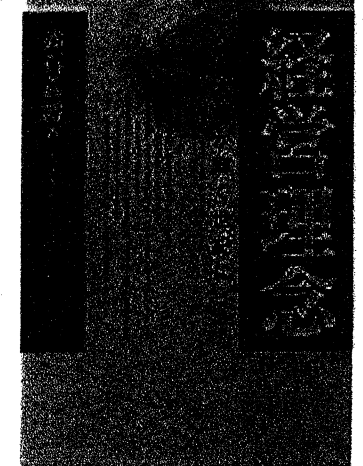
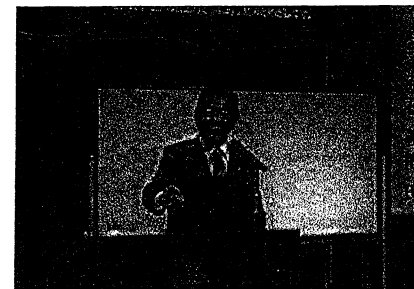


世界の歴史から学ぶ

* 相模原障害者殺傷事件



幸せの見える社会の実現は地域から





ご清聴、有難うございました。

石井 雄一郎

本日はお越しいただきありがとうございます。

傍聴の方からの質問や意見については、以下に記入いただきますようお願いいたします。

後程、講師の石井氏からお答えさせていただきます。

<ご質問>※できるだけ短文でご記入をお願いします。

<ご感想>

差支えがなければ、ご所属・ご氏名をご記入ください。